

県民協働型自然共生手づくり事業
「モリアオガエル、ニホンヒキガエルの産卵池づくり」

- ☆ 日 時：平成21年11月29日（日） 8：50～12：00
- ☆ 場 所：秋吉台エコ・ミュージアム
- ☆ 参加者：26人
- ☆ 主催者：秋吉台エコ倶楽部

1 スケジュール

- 8：50～ 9：10 受付・開会
- 9：10～ 9：40 環境学習「秋吉台のカエルについて」
- 9：40～11：00 池づくり
- 11：10～12：00 池の愛称命名
今後のスケジュール等
閉会

2 活動内容

秋吉台のモリアオガエル、ニホンヒキガエルの現状を学び、産卵池づくりを行います。

【学習】

秋吉台には山口県の絶滅危惧種に掲載されているモリアオガエル、ニホンヒキガエルが生息しているが、石灰岩台地で透水性のよいこの地は、水が常にある場所が限られているため産卵が特定の箇所に限られたり、防火用ドラム缶の中に産むなどしています。これらのカエルの繁殖する場所を確保するため、産卵池づくりを実施します。

モリアオガエルは、一般的に4～6月に池、沼、水田等の水上に張り出した枝や葉の間に産卵します。そのため、産卵池に枝のつきだした木が必要となること、またモリアオガエルはオタマジャクシ時代を水の中で過ごすか、カエルに成長すると陸地で生活するため、池から出られるよう（池の深さの調整等）にする必要がある等を学習しました。



【池づくり】

作業手順

1 池の大きさを決め、穴を掘ります

事前にバックホーで池の大きさの穴を掘ってありました。そこをスコップ等でサイズ、形、深さの調整をして法面を作ります。防水シート等に穴が空く原因となる木ぎれや木の根を取り除きました。



2 アンダーライナーを敷き詰める

防水シートの傷みを防ぐため、法面、池の底に敷き詰めます。アンダーライナーは古い繊維を圧縮して作られたものです。



3 防水シートを敷く

アンダーライナーからはみ出さないように敷き詰めます。



4 ベントナイト（粘土）と土を混ぜ防水シートの上に敷き固めます

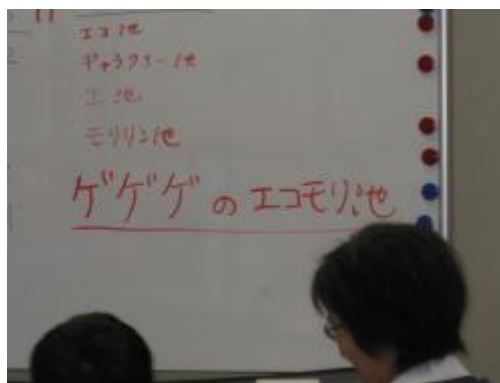
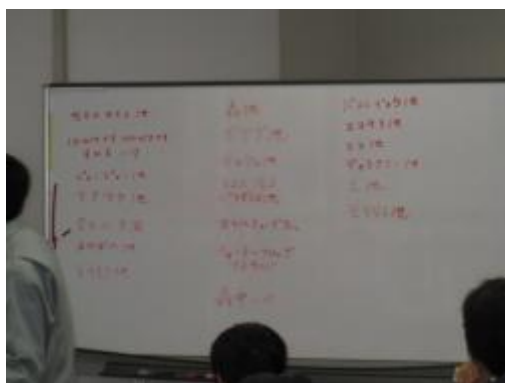


土を運び

→ ベントナイトと混ぜ合わせ

→ 敷き詰めます

※ 池の水は雨水を利用する。ベントナイトは水で固まる性質があるので、雨により固まります。
作業終了後、室内に戻り、今後の活動スケジュールの説明と池の愛称を決定します。



沢山の愛称候補の中から多数決で最多得票となった2つを組み合わせ
『ゲゲゲのエコモリ池』に決定！

2月には観察会を開催される予定です。

この池が地域や訪れる方々そしてカエル達の池となることを期待しています。